

offcn 中公考研

にほんご



2019 中公版

汇聚多年典型考题
开辟全真模拟战场
着眼考试答题技巧
注重知识讲练结合

考研英语公共日语 (203)

中公教育研究生考试研究院◎编著

阅读理解与作文『80分』专项突破

  世界图书出版公司

offcn 中公考研

考研公共日语 (203)

中公教育研究生考试研究院◎编著

阅读理解与作文『80分』专项突破

兴界图书出版公司
北京·广州·上海·西安

图书在版编目(CIP)数据

考研公共日语(203)阅读理解与作文“80分”专项突破 / 中公教育研究生考试研究院编著. —北京:世界图书出版有限公司北京分公司, 2018.7

ISBN 978-7-5192-4854-3

I. ①考… II. ①中… III. ①日语-研究生-入学考试-自学参考资料 IV. ①H360.421

中国版本图书馆CIP数据核字(2018)第175084号

-
- 书 名 考研公共日语(203)阅读理解与作文“80分”专项突破
 KAOYAN GONGGONG RIYU (203) YUEDU LIJIE YU ZUOWEN “80 FEN” ZHUANXIANG TUPO
- 编 著 中公教育研究生考试研究院
- 责任编辑 尹天怡 张文丽
- 特约编辑 王月珠
- 装帧设计 中公教育图书设计中心
-
- 出版发行 世界图书出版有限公司北京分公司
- 地 址 北京市东城区朝内大街137号
- 邮 编 100010
- 电 话 010-64038355 (发行) 64037380 (客服) 64033507 (总编室)
- 网 址 <http://www.wpcbj.com.cn>
- 邮 箱 wpcbjst@vip.163.com
- 销 售 各地新华书店
- 印 刷 北京盛彩捷印刷有限公司
- 开 本 889 mm × 1194 mm 1/16
- 印 张 16.5
- 字 数 396千字
- 版 次 2018年8月第1版
- 印 次 2018年8月第1次印刷
- 国际书号 ISBN 978-7-5192-4854-3
- 定 价 48.00元
-

如有质量或印装问题,请拨打售后服务电话010-82838515

前言

“考研公共日语”是全国硕士研究生招生考试的科目之一，考试形式为笔试，考试时间为180分钟，满分100分。试卷分为基础知识、阅读理解、作文三部分。其中阅读理解部分包括阅读题和翻译题。阅读题由4篇文章组成，阅读总量为4000字符左右，每篇文章后设有5个问题，每小题2分，满分40分。翻译题为一篇1000字符左右的文章，共5道小题，每小题3分，满分15分。作文题要求考生根据题干书写一篇450~500字符的日语作文，满分25分。阅读理解部分和作文部分的分值合计80分，可见掌握这部分内容的重要性。

本书聚焦80分的考研公共日语阅读理解部分和作文部分，是考生备考的指路明灯。它具有以下特色：

汇聚真题精华，锁定考试方向

本书囊括了2005—2017年的阅读真题、翻译真题、作文真题。考生通过做真题可以熟悉考题类型，了解每道题的出题点、出题规律和难易程度。通过深入研究考研公共日语的出题规律，考生会发现阅读题主要考查对词汇、句子、段落及文章大意的理解；翻译题主要考查日译汉能力，考生要在平时积累重点词汇和常见句型，并不断提高自己的日语和汉语水平；作文题主要考查日语书面表达能力，考生要能做到使内容充分合理、表达恰当得体。本书在每篇阅读题后精心增设了译文，便于考生更好地理解文章含义，从而更高效、准确地完成题目。此外，日汉文章的对照学习还有利于培养考生语感，提高考生的翻译能力。

同时，本书在每种题型后设置了列举重要词汇或惯用型的表格，帮助考生在学习的过程中把握要点。表格包含了词汇的读音、词性及含义，这就省去了考生查阅字典的时间，可以提高考生的复习效率。

探究多年考情，开辟模拟战场

通过探究多年真题规律，考生会发现阅读题主要考查对文章大意的理解及对细节问题的把握，要求考生拥有较大的阅读量，还要对日本的社会生活、日本人的思维方式有所了解；翻译题主要考查对文章含义的理解以及组织语言的能力，需要考生掌握一定的翻译技巧，对日汉互译把握精准；作文题主要考查书面表达能力，需要考生的语言表达准确、连贯。

为了能够使考生更好地掌握日语知识,本书在提供“实战机会”的同时,还为考生开辟了“模拟战场”,并根据真题规律有针对性地附上了12篇预测模拟阅读题、7篇预测模拟翻译题和10篇预测模拟作文题。预测模拟题均选自日文原版资料,文章涉及日本的社会文化、人生观、价值观等。真题和预测模拟题的练习,有助于考生把握出题规律,切实掌握答题技巧,提高答题速度。

着眼答题技巧,注重讲练结合

本书针对各题型归纳了答题技巧。如阅读题要寻找关键词、注意信号词、关注画线句前后内容、合理分配时间、注意答题顺序、做到精略结合等;翻译题应结合翻译理论与技巧,保持语句通顺,准确表达含义等;作文题应对话题进行合理立意、充实内容等。希望考生能够仔细阅读这部分内容,参照本书总结出的答题技巧和建议指导,找到真正有效的学习方法,并将其运用到考试中,从而取得优异的成绩。

做事讲求技巧,做题亦是如此。考生要想在考试中取得令人满意的成绩,绝非一朝一夕之事。学习在于积累,只有在茫茫题海中找到正确方向才是取胜的关键。

本书集真题及模拟题于一体,并配有题型分析、详细解答、参考译文和对常见词汇、句型的总结,希望能为考生提供复习参考。最后,中公教育研究生考试研究院衷心祝愿考生能够取得好成绩!

中公教育研究生考试研究院

2018年8月

本书使用的主要缩略语

日语词汇分类

名詞

一类動詞（五段動詞）

二类動詞（一段動詞）

三类動詞（サ变動詞）

（カ变動詞）

一类形容詞（イ形形容詞）

二类形容詞（ナ形形容詞）

副詞

助動詞

接續詞

接續助詞

接尾詞

連体詞

連語

中文缩写

名词

自五、他五、自他五

自一、他一、自他一

自サ、他サ、自他サ

无

形容词

形2

副词

助动词

接续词

接续助词

接尾词

连体词

连语

目 录

第一部分 阅读题

一、概况	1
(一) 基本介绍	1
(二) 考情分析	1
(三) 题目类型	2
(四) 阅读解答技巧	3
二、真题实战演练	3
(一) 2017 年阅读真题	3
(二) 2016 年阅读真题	16
(三) 2015 年阅读真题	27
(四) 2014 年阅读真题	40
(五) 2013 年阅读真题	52
(六) 2012 年阅读真题	64
(七) 2011 年阅读真题	76
(八) 2010 年阅读真题	87
(九) 2009 年阅读真题	99
(十) 2008 年阅读真题	111
(十一) 2007 年阅读真题	123
(十二) 2006 年阅读真题	135
(十三) 2005 年阅读真题	147
三、预测模拟	158
(一) 预测模拟阅读题 1	158
(二) 预测模拟阅读题 2	161
(三) 预测模拟阅读题 3	163

(四) 预测模拟阅读题 4	166
(五) 预测模拟阅读题 5	168
(六) 预测模拟阅读题 6	171
(七) 预测模拟阅读题 7	173
(八) 预测模拟阅读题 8	176
(九) 预测模拟阅读题 9	178
(十) 预测模拟阅读题 10	181
(十一) 预测模拟阅读题 11	184
(十二) 预测模拟阅读题 12	187

第二部分 翻译题

一、概况	190
(一) 基本介绍	190
(二) 考情分析	190
(三) 日译汉翻译技巧	190
二、真题实战演练	193
(一) 2017 年翻译真题	193
(二) 2016 年翻译真题	195
(三) 2015 年翻译真题	197
(四) 2014 年翻译真题	198
(五) 2013 年翻译真题	200
(六) 2012 年翻译真题	202
(七) 2011 年翻译真题	203
(八) 2010 年翻译真题	205
(九) 2009 年翻译真题	206
(十) 2008 年翻译真题	208
(十一) 2007 年翻译真题	210



(十二) 2006 年翻译真题	211
(十三) 2005 年翻译真题	213
三、预测模拟	215
(一) 预测模拟翻译题 1	215
(二) 预测模拟翻译题 2	216
(三) 预测模拟翻译题 3	218
(四) 预测模拟翻译题 4	219
(五) 预测模拟翻译题 5	221
(六) 预测模拟翻译题 6	223
(七) 预测模拟翻译题 7	224

第三部分 作文题

一、概况	227
(一) 考情分析	227
(二) 评分准则	227
(三) 写作要求·注意事项	228
(四) 日语写作指导	228
(五) 日语写作常用句型	228
二、真题实战演练	229
(一) 2017 年作文真题	229
(二) 2016 年作文真题	230
(三) 2015 年作文真题	231
(四) 2014 年作文真题	232
(五) 2013 年作文真题	233
(六) 2012 年作文真题	234
(七) 2011 年作文真题	235
(八) 2010 年作文真题	235

(九) 2009 年作文真题	236
(十) 2008 年作文真题	237
(十一) 2007 年作文真题	238
(十二) 2006 年作文真题	239
(十三) 2005 年作文真题	240
三、预测模拟	241
(一) 预测模拟作文题 1	241
(二) 预测模拟作文题 2	242
(三) 预测模拟作文题 3	243
(四) 预测模拟作文题 4	244
(五) 预测模拟作文题 5	245
(六) 预测模拟作文题 6	246
(七) 预测模拟作文题 7	247
(八) 预测模拟作文题 8	248
(九) 预测模拟作文题 9	249
(十) 预测模拟作文题 10	250
附录 高频语法汇总	252

第一部分 阅读题

一、概况

考研公共日语(203)是指非日语专业硕士研究生入学日语考试,它作为国家统考科目,考试范围、题型、方法等都严格按照教育部考试大纲实行。

根据2018年《全国硕士研究生招生考试日语考试大纲(非日语专业)》的解释,考生应能熟练地运用基本的语法知识,能掌握7 000个左右的词汇以及相关词组(考虑到交际的需要,考生还应掌握涉及个人好恶、生活习惯、宗教信仰,以及本人工作或专业等方面的特殊词汇),能读懂不同类型的文字材料(生词量不超过所读材料的3%),能写出不同类型的应用文。

考研公共日语(203)中的“阅读理解”题分为A节阅读题和B节翻译题。本部分将对A节阅读题进行基本介绍,并分析近年考情,剖析题目类型,总结阅读解答技巧等。

(一)基本介绍

考研公共日语(203)的“阅读理解”分为A节阅读题和B节翻译题。A节阅读题由4篇阅读文章组成,平均每篇文章1 000字符,阅读总量为4 000字符左右,每篇文章后设有5个问题,要求考生根据文章内容从每题的4个选项中选出最佳选项。每小题2分,共20道小题,满分40分。

阅读题的文章是不同类型的文字材料,包括书籍和杂志的文章,还有与自身学习或工作相关的文献、技术说明和产品介绍等。

(二)考情分析

从近几年的考题来看,阅读的文章体裁基本为评论文、说明文、随笔、散文和小说等,内容涉及日本的社会、经济、政治、体育、历史、地理、风土人情等,基本特点是着眼于日常生活中的某件事情或是社会上的某种现象,考查最多的是日本的文化、语言、生活、对自然的感悟及人生的感悟等。

每年的试题不限于某种单一的体裁,而是会出现多种文章体裁。因为文章多与日本人的语言文化、社会生活、思维方式等息息相关,这就要求考生不仅能理解文章含义,更要了解日本的相关文化背景,这样才能增加答题的准确度。

历年阅读真题第一篇多反映社会问题,评论文居多;第二篇多为人生感悟,随笔、散文居多;第三篇多为与文化差异相关的话题阅读文章,评论文居多;第四篇多为评论文,有时也有散文或随笔。由此可见,阅读题文章以评论文为主。

阅读题难度大约在日语能力测试N2~N1间,这就要求考生平时应多阅览日语图书,多了解日本的社会生活和日本人的思维方式。这样做起题来才可以得心应手。





(三) 题目类型

阅读题主要考查对词汇、句子、段落、文章大意的理解。它包括以下几类题目:

1. 考查对指定单词、语句、概念、观点的理解

这类题目要求考生准确理解文章中的词语、句子,根据上下文或结合文章整体含义进行推断。

文中の「 」とは何か。

文中の「 」はどのような意味か。

文中の「 」の意味に近いものはどれか。

文中の「 」の具体的な内容はどれか。

文中に「 」とあるが、それはどういうことか。

筆者が言う「 」という概念と違うものはどれか。

文中の「 」の内容として最も適切なものはどれか。

筆者の考えに合っている/合わないものは次のどれか。

文中の「 」の説明として正しいものはどれか。

2. 考查指示代词

「コソアド」指示代词是考查的重点,几乎每年都会考到。

文中の「 」は何を指すか。

文中の「 」の指すことはどれか。

「 」が指す内容として最も適切なものはどれか。

3. 考查原因或理由

考生要分析文中事件发生的理由和原因并进行正确推断。

文中に「 」とあるが、それはなぜか。

文中の「 」の原因として、最も適切なものはどれか。

文中の「 」理由として最も適切なものはどれか。

文中に「 」とあるが、その理由として最も適切なものはどれか。

4. 考查逻辑关系

这类题型会考查上下文及前后段落的逻辑关系,其多为转折、并列、递进等关系。

文中の「 」に入るものはどれか。

文中の「 」に入れる言葉はどれか。

文中の「 」に入るのに最も適切なものはどれか。

次の段落は文中のどの段落の後に入れたらよいか。

5. 考查主旨大意

这类题型主要考查对全文内容的理解。

筆者が最も言いたいことは何か。

この文章のまとめとして最も適切なものはどれか。

「 」に対して、筆者がどんな気持ちを持っているか。

筆者の考えに最も近いものはどれか。



(四) 阅读解答技巧

阅读题一般为4篇1 000字符左右的文章,体裁多为论说文、说明文、随笔或小说,这就要求考生理解文章主要内容,分析上下文的逻辑关系,归纳作者想表达的主要意见或主张。因此,我们在做题时可以使用以下几个小技巧,来提高做题速度和答题准确度。

1. 寻找关键词

一篇文章往往围绕一个中心话题展开,关于此话题可能会反复出现一些关键词来说明。考生根据这个词出现的频率,大致可以判断出文章主旨。

2. 注意信号词

「～と思う/考える」用来提示作者思想;「～だろう/だろうか」经常用于以委婉和反问的语气表达作者的想法;「つまり/すなわち」后面的内容常为总结性的话语,可能就是作者的想法;「～より/むしろ/～言い換えれば」译为“与其……不如……,换言之”,用来表示总结,此语法前后表达含义一致,后面的总结性内容多为作者心情。

3. 做题时间分配

考生做阅读题的时间建议为每篇控制在15分钟以内,4篇用时控制在60分钟以内。

4. 关注画线句前后

阅读题中会出现很多对画线句的理解之类的问题。这类问题的答案一般就在画线句前后。考生应在理解画线部分含义的基础上,重点分析画线部分前后的内容,以便找出正解。

5. 答题顺序

阅读题难度较大,题量多,因此考生需要格外注意阅读顺序。因此,本书建议考生先看文章后所设问题,然后再带着问题看文章。这样有利于提高做题速度。

6. 精略结合

考生做阅读题时要采取精读与略读相结合的方式,涉及答题的关键部分要认真分析,其他部分可略读,把握大意即可。考生应充分利用自己的日语知识,把握句子主干,分清主谓宾,关注中心词。考生做题时还应把握文章结构,包括文章类型,句与句之间的关系,段与段之间的关系,上下文所体现出的因果关系、递进关系、转折关系等;理清文章总体思路,包括问题的提出、事情的发展、高潮的形成以及问题的解决和作者的态度等。

二、真题实战演练

(一) 2017年阅读真题

[一]

日本には現在、朝日、毎日、読売という三大組がある。これに、日経、産経を加えて五大組と称することもあるらしい。

新聞というものを、わたしはすでに数十年前からほとんど読まないことにしている。それをひそかな誇りにしている。

なぜ読まないか、話は簡単である。読み比べて、何の区別もないからだ。久しく前から、新聞を作る

人たちが自分は言葉のプロであり、文章を書くことによってメシを食う職業人であるという意識を、徹底的に喪失してしまった。売文業者であることを忘れてた。事件が起こり、その事件を二足す二は四——という文体で報道するだけならば、それはジャーナリズムとは言えない。ジャーナリズムとは、文章である。もちろん、事実は伝えなければならない。が、その事実を伝えるにも無限の方法があり、発想があることを、みな忘れてしまった。二足す二は四という文章ばかりである。

(ア)、どれを見ても区別のつかない新聞に、区別をつけるのはコラム(专栏)である。いい日本語、面白い文章、楽しい文章、読んで啓発される文章——そういうもので書かれたコラムがあるかないかが、新聞の生命を決定するとわたしは考える。

大正末期から昭和にかけて、かなり長い間毎日新聞は薄田泣菫の「茶話」というコラムを載せていた。当時の毎日新聞はたった一つ、この「茶話」のコラムだけで売っていたんだ。座布団サイズの新聞が、ハガキ大のスペースのコラムで売っていたのである。が、それは当然のことだったろう。その頃、まだ新聞はその文章によって読まれるという、本来の機能と美徳が生きていた。新聞を作る人の意識の中に文章を売るという意識があったのだと思われる。

これに対抗するため朝日新聞が持ち出してきたのが、杉村楚人冠のコラムである。どちらかという、わたしは薄田泣菫の文章のほうが好きである。いま読み返してみても、なお読むにたえるユーモア、柔らかさ、清新さ、色々なものを含んでいる。こういうコラムというものが、もうなくなってしまった。あのコラムがあるために新聞を読もうという喜びが、ことごとく死に絶えてしまった。もちろん、外部の偉いセンセイたちに頼んでコラムを書いてもらう欄はいくらでもあるし、どの新聞にもある、が、その内容自体が凡庸、陳腐、お粗末ニュースそのものは、現代、即刻テレビで報道されてしまう。そして、ロコミというコミュニケーション機関もある。従って、新聞の権利回復はいまこそコラムにかかっているのである。読みたくなるようなコラム、これが新聞なんだ。

21. 文中に「新聞というものを、」とあるが、それはなぜか。

- [A] 新聞の文章を書く人たちは文章で生計を立てる必要がなくなったから
- [B] 新聞は事実を伝えなければならないという義務を徹底的に忘れたから
- [C] 新聞の内容はどれもこれも大体同じで変化がほとんど見られないから
- [D] 新聞は朝日などのいわゆる三大組または五大組に独占されているから

22. 文中の(ア)に入れるものはどれか。

- [A] なお
- [B] さて
- [C] そのため
- [D] すなわち

23. 文中の「それ」は何を指すか。

- [A] 字数の少ないコラムが当時の毎日新聞を支えていたこと
- [B] 薄田泣菫の書いたコラムを長い間毎日新聞に載せていたこと
- [C] 美しい日本語で書かれたコラムが新聞の生命を決定していたこと
- [D] 新聞の本来の機能と美徳が当時の日本社会ではまだ生きていたこと

24. 文中に「新聞の権利回復は」とあるが、それはなぜか。

- [A] 現在ほどの新聞のコラムの内容もつまらなくて清新さが全くないから
- [B] テレビはコラムのような形でニュースを報道することができないから



- [C] ニュースを即刻に報道する面において新聞はテレビには勝てないから
 [D] コラムから新聞を読む喜びを味わいたい人がいないわけではないから

25. この文章の内容に合っているものはどれか。

- [A] 現在の新聞をつくる人たちは自分が文章で生きていることを完全に忘れた。
 [B] だれも読まない新聞のコラムがいずれ死亡広告の記事に取り替えられよう。
 [C] 朝日新聞と毎日新聞の競争が現在のような清新なコラムの文章を生み出した。
 [D] 事実を報道する場合には新聞の文章は作者の発想や意見などを避けるべきだ。

答案精解

21 C 文中提到“报纸……”的原因是什么？

第三段提到「なぜ読まないか、話は簡単である。読み比べて、何の区別もないからだ」,表示不阅读报纸的原因在于阅读与否完全没有差别。C项意为“报纸内容全都大同小异,基本看不出什么变化”,符合题意。故本题选C。

22 B 文中「ア」处应该填哪项？

第三段提到“全都是些‘二加二等于四’的文章”,后文又提到“能区分它们的是专栏”,从中可以看出,「ア」前后为话题转折关系。B项「さて」表示话题转折,符合文章题意。A项意为“再者、还有”,C项意为“为此、因此”,D项意为“正是、换言之”。故本题选B。

23 A 文中的「それ」指的是什么？

「それ」指代前文内容,根据前后文,可知其指代「座布団サイズの新聞が、ハガキ大のスペースのコラムで売っていたのである」。故本题选A。

24 C 文中为何会说“恢复报纸的往日荣光”？

题中的句意为“恢复报纸的往日荣光正应通过专栏来实现”,而在本段开头指出“在现代,新闻会立刻为电视所报道”。C项意为“在即时报道新闻方面,报纸并不优于电视”。故本题选C。

25 A 下列选项中哪项符合文章内容？

文章第三段提到「久しく前から、新聞を作る人たちが自分は言葉のプロであり、文章を書くことによってメシを食う職業人であるという意識を、徹底的に喪失してしまった」,其意为“很久以前,报纸制作人就彻底丧失了这种意识——自己是语言专家,是以写文章为生的专业人士”。A项意为“现在制作报纸的人们完全忘记了自己以写文章为生”,与原文内容一致。故本题选A。

精彩译文

日本现在将《朝日新闻》《每日新闻》《读卖新闻》并称为“三大报纸”。在此基础上再加上《日经新闻》《产经新闻》,它们并称为“五大报纸”。

我早在几十年前就不怎么读报纸这种东西了,并且以此偷偷自豪。

我为什么不读报纸了呢?原因很简单,就是因为这些报纸,内容几乎没有任何区别。很久以前,报纸制作人就彻底丧失了这种意识——自己是语言专家,是以写文章为生的专业人士。一旦有事情发生,就将它以“二加二等于四”这样的笔触进行报道,这也不能称之为新闻。所谓报纸,就是文章。当然,

它必须要传达事实。有无数种方法可以表述事实,但大家忘记了构思,(写的)全都是些“二加二等于四”的文章。

无论哪种报纸都没有区别,能区分它们的是专栏。我认为是否带有辞藻优美的日语表达、有趣的文章、让人享受的文章、阅读的同时也能被启发的文章在内的专栏,决定着报纸的生死。

从大正末期到昭和时代的很长一段时间,《每日新闻》上都刊载薄田泣董的茶话专栏。当时的《每日新闻》仅仅因为这专栏就大卖特卖。坐垫大小的报纸,因一张明信片大小的专栏就大卖特卖,这也是顺理成章的事情吧。此时,报纸还有着原本的功能和美德——文章值得一读。报纸制作人还有着卖文

的意识。为了与《每日新闻》竞争,《朝日新闻》开设了杉村楚人冠的专栏。怎么说呢,我更喜欢薄田泣董的文章。即使现在重读,我还能体会到其中包含的值得一读的幽默、灵活、清新。这种专栏现在已经没有了。那种为了专栏而阅读这份报纸的喜悦也已经全部消失了。当然,拜托公司外部的优秀老师们写的专栏还有一些,但哪份报纸中都有这些内容,其内容平庸、陈腐、粗糙……全然无趣。并且,现在还有了传播小道消息的机构。因此,恢复报纸的往日荣光正应通过专栏来实现,有让人想读的专栏才称得上是报纸。

重要词汇及惯用型

词汇·句型	读音	词性	意义
コラム		名词	专栏
ジャーナリズム		名词	新闻界
というもの			所谓……
ばかり			仅仅
にかけて			从……至……
ため			为了……

[二]

一人の人が一生のうちに、何人の先生にもものを教えてもらおうだろう。幼稚園から始まって学校の先生方は言うまでもないが、この頃は学校外にお稽古事をするのが流行で、小さい人がピアノとかバレエとか特別の先生についている。学校を卒業したお勤めの人たちも色々先生をもっている。生花・茶道組もあるし、手芸組、スポーツ組、実用組の人は簿記・筆記・タイプライターと何でも次々に習得しようというのもある。

主婦はタイプや筆記を習っても、それを生かして働きに出るだけの時間のゆとりがないから、こういう勉強をする人は少ないらしく、スポーツもいまさらテニスは骨が折れるし、——手芸が多いだろうか。

知人に生花・茶道の先生があるが、忙しい中に暇を作っては、書道・日本舞踊と習って歩く。人にもものを教える商売は、つつしみがちになるので、気がふけていけないと言う。先生と呼ばれれば、いつもどこからか多数の生徒に見られている、と覚悟していなければならぬ。「学ぶ」は「まねぶ」であって、真似る意味があるのだから、見られているということは真似られることだとまずはそう思わなくてはならない。真似られて恥をかくようなことはできないから、いつも謹んでいる。すると着物でも何



でもつい地味に落ち着いたものを選ぶようになるし、気持ちもなるべく平穏にと心がけるので、いつしか年齢よりふけてしまう。けれどもお弟子さん方は欲張りで、ふけて落ち着いた先生は好きなくせに、ふけ込んで若さを失っている先生なんかは大嫌いなのだそうだ。ふけていて若々しくなくては、生徒たちに人気がないのだそうだ。難しいものだ。

ものを習えば若々しく見えるという。それでその先生たちはせっせと稽古事をして、活気を絶やさないように心がけ、かつ楽しんで生活をしているのである。

授業料を出す出さないにかかわらず、教えてくださいと願う以上は、教えてくれる人は先生である。でも願わないで教えてもらう縁もたくさんある。私にも学校の先生のほかに、幾人かの先生のお世話にもなり、また願わないで教えてもらった師もたくさんある。ふと読んだ本、通り掛かりで見えはっと納得した光景等々、何人の師に逢っているかと思うとき項垂れて感謝する。その中で大きな師が一人いる。

死である。私は十年ほど前に父の死にあったのだが、あの死にあったのでどんなにいくつものことを教えられたか、数えることも何もできないのである。死というのは、人生の最後のところに控えた大先生であると思う。だが、この大先生にあつて教えられるのは、——頭の悪い、しかもなまけもののみなのだ。死は師である、と私は思っている。

26. 文中の「こういう勉強」の内容はどれか。

- [A] ピアノのような芸術的なもの [B] タイプのような実用的なもの
[C] 生け花のような伝統的なもの [D] テニスのような体力的なもの

27. 文中に「つつしみがちになる」とあるが、それはなぜか。

- [A] いつも他人に注目されて模倣されていることをよく知っているから
[B] 若くても年齢が上だという印象を学生に与えたいと思っているから
[C] 落ち着いた服を着て学生を教えることがすでに常識になっているから
[D] 忙しくても書道や日本舞踊など教養となるものの勉強をしているから

28. 文中に「難しいものだ」とあるが、なぜこのように言うか。

- [A] 学生は授業料も出さずに先生にものを教えてもらうこともしばしばあるから
[B] 学生は生け花や茶道の先生に書道などのことを教えてもらうこともあるから
[C] 学生は欲張りで気持ちの平穏で落ち着いた実際年齢の若い先生が好きだから
[D] 学生はふけて落ち着いたけれども若さを失っていない先生が好きだから

29. 文中に「死は師である」とあるが、なぜこのように言うか。

- [A] 人間がふけてしまうと、死だけが実際に何かを教えてくれる存在になるから
[B] 感謝はしないが、死は本に書かれていないことをたくさん教えてくれたから
[C] 頭が悪くてなまけもの人間が、死に直面して初めて勉強するようになるから
[D] 願わないことであるが、父の死から考えさせられることがたくさんあったから

30. この文章の内容に合っているものはどれか。

- [A] 学校を卒業した人たちの先生の中で、実用組の先生がもっとも多い。
[B] スポーツ組の先生は仕事が忙しいので、地味な服がもっとも似合う。

